

第2学年1組 体育科 学習指導案

実施期間 令和〇年〇月

指導者 〇〇 〇〇

1 単元の構想

マットを使った運動遊び

単元終了後の子どもの姿	<p>マットを使ったいろいろな転がり方や跳び方、体の保持の仕方といった運動遊びの楽しさを感じ、より運動を好きになっている。学びから生まれた「わかった、できた」を日常生活やその他の運動遊びに生かしたり、進んで運動遊びに取り組んだりしている。</p>
-------------	---

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
単元の目標	<p>マットを使った運動遊びの行い方を知るとともに、いろいろな方向に転がったり、手で支えての体の保持や回転をしたりして遊ぶことができるようになる。</p>	<p>マットを使った簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。</p>	<p>マットを使った運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とも仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。</p>

目標に向かうための手立て	<p>○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」</p> <p><b>【めあて】</b> 前時までの自分たちの運動遊びの動画を見て、友達のよいところや自分が困っているところ、やってみたいことなどを全体で共有することで、本時のいろいろな転がりや跳び方等のめあてを主体的に捉えられるようにする。</p> <p><b>【振り返り】</b> 短い時間で簡単にできるような振り返りシートを活用し、ロイロノートに保存していく。また、写真や動画も紐づけることで、マットを使った運動遊びの「わかった、できた」の振り返りや達成感につなげる。</p> <p><b>【対話】</b> 友達の運動遊びについて、どのようなところに着目して見るのか視点を与えたり、対話のモデリングをしたりすることで、互いに撮影したマットを使った運動遊びの動画をもとに対話を活性化させ、学びの深まりにつなげる。</p>		
--------------	--	--	--

子どもの実態 33人	<p>①マット運動遊びの行い方は、お手本を示すと理解できる。</p> <p>②前学年での学習経験より、ゆりかごや転がる運動遊びなどはできる児童が多い。</p> <p>③手や背中で体を支える姿勢やブリッジを苦手とする児童が多い。</p>	<p>①自分がやりたい運動遊びや場を選ぶことは、おおよそできる。</p> <p>②腕支持で移動したり逆さまになったりする動きを好んで選ぶ児童が多い。</p> <p>③友達のよいところを見つけたり伝えたりすることを苦手としている児童が4人いる。</p>	<p>①事前調査で「マット運動がきらい」と答えた児童はいないが、苦手意識や恐怖心から進んで運動に取り組めない児童が2人いる。</p> <p>②運動に夢中になると、安全の約束を忘れる児童がいる。</p> <p>③準備や片づけを進んでできる児童が多い。</p> <p>④場の安全に気を付けようとする児童が多い。</p>
------------	---	---	---

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①マットを使った運動遊びの行い方について話したり、実際に動いてみたりしている。</p> <p>②マットに背中や腹などをつけていろいろな方向に転がって遊ぶことができる。</p> <p>③手や背中で支えて逆立ちをしたり、移動したり、体を反らせてブリッジをしたりして遊ぶことができる。</p>	<p>①坂道やジグザグなどの複数のコースでいろいろな方向に転がることができるような場を選んでいる。</p> <p>②腕で支えながら移動したり、逆さまになったりする動きを選んでいる。</p> <p>③友達のよい動きを見付けたり、自分で考えたりしたことを友達に伝えたり書き出ししたりしている。</p>	<p>①動物の真似をして腕で支えながら移動したり、転がったりするなどの運動遊びに進んで取り組もうとしている。</p> <p>②順番やきまりを守り、誰とも仲よく運動遊びをしようとしている。</p> <p>③用具の準備や片づけを友達と一緒にしようとしている。</p> <p>④場の安全に気を付けている。</p>

指導と評価の計画（6時間取り扱い ●本時2/6）								
課題等	時間	1	2●	3	4	5	6	
り、「マットランド」でいろいろな方向に転がった体を支えたりしながら運動遊びを楽しもう	0	オリエンテーション ・学習内容の確認 ・安全の約束の確認 ・場の準備や片付けの仕方の確認 ・感覚つくりの運動遊び	場の準備→準備運動（感覚つくりの運動遊び）					
	45		ころころランド ・前転がり ・後ろ転がり ・だるま転がり ・丸太転がり	ぴよんぴよんランド ・腕支持での川跳び ・腕支持での平均台跳び	さかさまランド ・跳び箱や肋骨を使った運動遊び	マットランドで楽しもう		
			振り返り→遊びのバリエーションの紹介			グループでマットランドの場を作ったり、紹介し合ったりして楽しむ	自分のグループで場を作ったり、他のグループと紹介し合ったりして楽しむ	
			・組み合わせ	・川跳びからの腕立て横跳び越し	・さかさまからのブリッジ			
		振り返り→整理運動→片付け						
知			②	③	①			
思				③		①	②	
主		④	③		①	②		

## 2 本時の授業計画

### (1) 本時の目標

ころころランドでいろいろな転がり方をして楽しむことができる。

### (2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT 機器等
導入	10	1 場の準備、準備運動、感覚つくりの運動遊びをする。 2 本時のめあてを決める。	・音楽が流れていると、体を動かしたくなるな。  ○今日はどんな楽しみ方をしたいですか。	◎【主】③用具の準備を友達と一緒にしようとしている。 <観察>	BGM 用の機器
		ころころランドでいろいろな転がり方をして楽しもう			
展開	15	3 どのような転がり方をして遊ぶことができるのかを考えながら活動する。 (1) 基本となる転がり方で遊ぶ。 (2) 工夫した転がり方をして遊ぶ。 (3) マットの並べ方を変えて遊ぶ。	○ころころランドでは、どんな転がり方をして遊ぶことができるかな。  ・「○○転がり」はこのようにするんだな。 ・忍者転がりなどをして、他に「～転がり」を考えたよ。 ・ジグザクやでこぼこのマットがおもしろいな。	○子どもからの問いを引き出すために、前時の様子を動画で見る。 ○振り返りにつなげるために、動画撮影の視点を示す。 ○対話を活性化するために上手な対話をモデリングする。 ◎【知】②マットに背中や腹などをつけていろいろな方向に転がって遊ぶことができる。 <観察、ICT>	電子黒板  タブレット
	5	4 どのような転がり方ができたか紹介する。	・～さんは、こんな転がり方をしていたよ。すごいね。		
	10	5 組み合わせるなどして、いろいろな転がり方を楽しむ。	・こんな組み合わせで成功したよ。		
終末	5	6 学習を振り返る。場の片付けをする。	・今日はこれができたな。次はこんなことができるようになりたいな。	○「キラリさん」を紹介することで相互に認め合い、達成感を味わうことができるようにする。	タブレット

# 体育

小学校・体育（運動領域）

## 第2学年1組 体育科 学習指導案

実施期間 令和6年10月  
指導者 ○○ ○○

### 1 単元の構想

#### マットを使った運動遊び

マットを使ったいろいろな転がり方や動き、より運動を好きになっていく。学びの運動遊びに生かしたり、進んで運動遊び

**ポイント**

### 単元の目標

・学習指導要領の文言を使用して、文末を「～できるようにする。」として作成する。

単元の目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びの態度、人間性等
マットを使った運動遊びの行い方を知るとともに、いろいろな方向に転がったり、手で支えての体の保持や回転をしたりして遊ぶことができるようになる。	マットを使った運動遊びの行い方を知るとともに、いろいろな方向に転がったり、手で支えての体の保持や回転をしたりして遊ぶことができるようになる。	マットを使った簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。	マットを使った運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とも仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」  
【めあて】  
前時までの自分たちの運動遊びの動画をみて、友達のようにころころランドで遊ぶこと

**ポイント**

### 単元の評価規準

#### 【知識・技能】

- ・「知識」と「技能」の内容は、別の項目で作成する。（中学校の場合【知識】と【技能】を文末に明記）
- ・「知識」の文末は、「～している」として作成する。
- ・技能の文末は、「～できる」として作成する。

#### 【思考・判断・表現】

- ・文末を「～している」として作成する。

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ・「安全」に関する内容は、文末を「～している」として作成する。
- ・安全以外に関する内容は、文末を「～しようとしている」として作成する。
- ※項目や内容が多い場合は、文字を小さくするなどして調整をする。

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①マットを使った運動遊びの行い方について話したり、実際に動いてみたりしている。 ②マットに背中や腹などをつけていろいろな方向に転がって遊ぶことができる。 ③手や背中支えて逆立ちをしたり、移動したり、体を反らせてブリッジをしたりして遊ぶことができる。	①坂道やジグザグなどの複数のコースでいろいろな方向に転がることができるような場を選んでいる。 ②腕で支えながら移動したり、逆さまになったりする動きを選んでいる。 ③友達のよい動きを見つけたり、自分で考えたりしたことを友達に伝えたり書き出ししたりしている。	①動物の真似をして腕で支えながら移動したり、転がったりするなどの運動遊びに進んで取り組みようとしている。 ②順番やきまりを守り、誰とも仲よく運動遊びをしようとしている。 ③用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ④場の安全に気を付けている。

指導と評価の計画（6時間取り扱い ●本時2/6）						
課題等	時間	1	2●	3	4	5
オリエンテーション ・学習内容の確認 ・安全の約束の確認 ・場の準備や片付けの仕方の確認 ・感覚づくりの運動遊び	0	場の準備→準備運動（感覚づくりの運動遊び）				
	45	ころころランド ・前転がり ・後ろ転がり ・だるま転がり ・丸転がり	びよんびよんランド ・腕支持での川跳び ・腕支持での平均台跳び	さかさまランド ・跳び箱や肋木を使った運動遊び	マットランドで楽しもう グループでマットランドの場を作ったり、紹介し合ったりして楽しむ	自分のグループで場を作ったり、他のグループと紹介し合ったりして楽しむ
		振り返り→遊びのバリエーションの紹介				
		振り返り→整理運動→片付け				
知			②	③	①	
思				③		①
主	④		③		①	②

**ポイント**

### 指導と評価の計画

・縦軸に一時間の活動の流れ、横軸に単元の時間の流れとして、単元計画を作成する。  
・毎時間、帯で取り組むものは四角で囲む。

### 2 本時の授業計画

#### (1) 本時の目標

ころころランドでいろいろな転がり方をして楽しむことができる。

#### (2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT機器
導入	10	1 場の準備、準備運動、感覚づくりの運動遊びをする。 2 本時のめあてを決める。	○音楽が流れていると、体を動かしたくなるな。 ○今日はどんな楽しみ方をしたいですか。	◎【主】③用具の準備を友達と一緒にしようとしている。 <観察>	備考 ・ICT機器 GM用の
		ころころランドでいろいろな転がり方をして楽しもう			
展開		3 どのような転がり方をして遊ぶことができるのかを考えな	○ころころランドでは、どんな転がり方をして遊ぶことができるかな。	◎子どもからの問いを引き出すために、前時の様子を動画で見せる。 ○振り返りにつなげるために、動画撮影の視点を示す。 ○対話を活性化するために上手な対話をモデリングする。 ◎【知】②マットに背中や腹などをつけていろいろな方向に転がって遊ぶことができる。 <観察、ICT>	
終末				○「キラリさん」を紹介することで相互に認め合い、達成感を味わうことができるようにする。	タブレット

**ポイント**

### 教師の支援

・何のために、どんな支援をするのかを具体的に書く。

### 評価

・「指導と評価の計画」と合致するように、評価項目を入れる。  
・評価方法をくく書きする。

**ポイント**

### 評価する内容

・1枚目の評価規準にある評価項目の番号を、1時間に1つか2つ入れる。  
・単元の評価規準の全ての項目を計画的に評価する。